

# 第18回 高齢者排泄ケア講習会

日 時：平成 21 年 2 月 13 日(金) 19:00～

場 所：ソラリア西鉄ホテル 8 階「雪の間」

〒810-0001 福岡市中央区天神 2-2-4

参加費：1,000 円

## 第一部 教育講演 (19:00～20:30)

座 長：武井 実根雄 先生 (原三信病院 泌尿器科 部長)

<基礎編> 演題名：「在宅での排泄支援」

講 師：今丸 満美 先生

\* 日本コンチネンス協会 九州支部長 \* 有限会社 エルム 代表

看護、介護の現場において排泄ケアは食べる事と同じく、最も重要である事は周知のとおりです。現場では、様々な研修や勉強会が強化され看護・介護従事者の知識や技術は高まっており、付随して思うような排泄ケアができない現状との狭間でジレンマを感じているのも事実です。実際にはオムツでなくてもよい人に、制度上、支援が届かずオムツを使用させていることや、ヘルパーの支援が可能であれば間歇導尿ができる方々に対し、留置カテーテルを使用せざるを得ないなど、国の制度では、医療、介護の充実を目指そうと始められた介護保険も障がい者支援制度も不十分なままです。今回、現在の私たちがあるべき姿を常に主張し続けていくべきことについて、事例を通し発言させていただきたいと思います。

<応用編> 演題名：「高齢者介護に求められる排泄管理の基礎知識」

講 師：上田 朋宏 先生

\* 京都市立病院 泌尿器科 部長 \* 京都府医師会 理事

\* NPO 法人 快適な排尿をめざす全国ネットの会 理事長

国の愚策により高齢者介護の現場の疲弊は年々ひどくなり、医療現場と同様崩壊の危機に瀕している。高齢者の生活をみる介護職の方々は、必然的に人間の尊厳にかかわる排泄について向き合わなければ ならない職業であるにも関わらず十分な知識、技術を取得できずに現場で解決する責務を担っている。そもそも介護保険の基本設計は、介護は 24 時間施したほうが良いに決まっているため、その経済的理由により「制限」が基本になっている。オムツが当たり前、バルーンカテーテルが当たり前では、永遠に高齢者排尿管理は適切な医療対象にはならない。オムツでも枚数を減らす手立てはあるし、快適なオムツもある。介護現場での、適切な排尿管理が世界一の長寿国日本の高齢者医療の問題をブレイクスルーするものと期待している。介護職の方々に最低限必要な知識・技術を周知し、介護職・看護職・医師共同で高齢者排尿管理指導の標準化をめざしていることを紹介する。

## 第二部 個別相談 (20:30～)

共催：NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会  
アステラス製薬株式会社

後援：福岡市泌尿器科医会  
福岡市医師会

## 第 18 回高齢者排泄ケア講習会 会場案内

ソラリア西鉄ホテル 8階「雪の間」 〒810-0001 福岡市中央区天神 2-2-4



西鉄福岡駅と天神バスセンターに直結。

福岡市営地下鉄「天神駅」「天神南駅」から徒歩約5分。

JR博多駅から車で10分。地下鉄(天神駅 下車)で7分。

福岡空港から車で20分。地下鉄(天神駅 下車)で12分。

- ・福岡市営地下鉄空港線天神駅 5番出口、福岡市営地下鉄七隈線天神南駅 2番出口、又は地下街・ソラリアプラザ出口。
- ・お車の場合は、「渡辺通り」「天神バスセンター前」交差点より左折・右折可。
- ・警固公園(警固神社)南側の国体道路西行きからは右折禁止です。